

## 第9回網走川ほか減災対策協議会 議事要旨

日 時：令和5年7月20日（木）13：30～15：00

会 場：ホテル黒部 雲海

出席者：網走市長（代理）、美幌町長（代理）、津別町長、大空町長（代理）、網走地区消防組合消防長、美幌・津別広域事務組合消防長、北海道警察北見方面本部警備課長（代理）、網走警察署長（代理）、美幌警察署長（代理）、陸上自衛隊第6即応機動連隊長（代理）、網走地方気象台長、オホーツク総合振興局長（代理）、網走開発建設部長

※網走川ほか減災対策協議会、常呂川減災対策協議会の2協議会合同開催

### 《議事内容》

- (1) 規約改正
- (2) 幹事会報告
- (3) 取組状況のフォローアップ
- (4) 意見交換
- (5) 情報提供
- (6) 今後のスケジュール

### 《議事概要》

- (1)～(3)、(6)について意見等なく了承された。
- (5)について、質問等なし。
- (4)について、各機関からの意見は下記のとおり。

### \* 網走市

- ・昨年度は FM あばしりを活用した防災情報伝達手段の整備として、弱電地域をカバーするため放送アンテナを移設した。
- ・網走川流域における災害情報の共有を図るという点においては、より広域の地区内での情報発信ができるような取組をさらに強化していきたい。  
また、地域の防災訓練や1日防災学校を実施し、避難行動のための取組を継続的に実施している。
- ・平成28年に大雨の影響により網走川下流域で河川水位が上昇し樋門を閉扉したため、内水氾濫が発生し、付近の住宅が浸水するという被害があった。そのため、堤内排水対策として釜場を1か所整備していただいた。他にも釜場の整備が必要な箇所があるので、ご検討をお願いしたい。

### **\* 美幌町**

- ・1週間前の7月13日、短時間で局地的な豪雨によって、美幌町内のアメダスの観測所で13時10分から14時10分までの1時間の降水量が93mmを記録し記録的短時間大雨情報が発表された。美幌町内のアメダスは、市街地から8kmほど離れている地点にあり、町内においては同じ時間帯で20mm程度の降雨、逆に北見側、市街地から西側に5kmほど離れた雨量観測所では2mm程度の降雨であり、同じ町内においても降雨量の差が大きかった。局地的な災害に対する対応ということでは、大雨警報が発表されてからの気象庁解析雨量情報などでは地域内でも差があるということを感じたため、防災対策の取組を強化していきたいと考えている。美幌川においては14時30分に氾濫警戒情報が発表された。局地対応には、上流側の情報も注視する必要があると感じた。
- ・防災対策については、昨年度庁舎北側に防災資機材の保管や運搬拠点とするための防災資機材備蓄倉庫を整備した。主に段ボールベッドや毛布、テント用のパーティション、簡易ベッド等を備蓄した。また、避難所の感染防止対策としてジョイントスクリーンやパーティションを整備しており、今年度も追加購入を行った。屋内の指定避難所における感染防止対策については、今年度で整備を完了したいと考えている。
- ・総合防災訓練については3年に1度実施している。昨年度実施し、災害発生から避難所開設までの訓練、地域防災に関する知識を深めるための全町民を対象とした防災講話を行っている。今年度は水害を想定した町職員による災害対処訓練において避難所開設訓練を予定している。秋には自治会連合会の自主防災訓練を行う予定である。子供たちの関係では、町内に小中学校が5校あるが、防災知識を学ぶ取組として1日防災学校を令和3年度から実施しており、今年度も引き続き実施したいと考えている。

### **\* 津別町**

- ・津別町では、国営農地再編整備事業を平成27年から行っており、令和6年度に完了予定である。数年前に整備を行ったところが少し被害に遭った。今回の大雨だけでなく、まとまった雨が降るたびに影響を受けているが、網走開発建設部にはその都度ご対応いただいております、感謝申し上げます。
- ・6月7日に降雹被害があり、そのとき集中豪雨もあった。畑で298haほど被害を受けた。その後、農地を確認すると作物は順調に育ってきている。雹の影響では車への被害もあり、修理に1か月待ちというような状態が続いているという話も聞いている。
- ・河川事務所が実施している重要水防箇所の合同巡視に毎年出席させていただき、一番危ない箇所を確認している。今年も7月6日に参加し、重要水防箇所を再認識したところである。町では順次IP無線機の整備や、新庁舎建設に伴って防災倉庫の整備等も行っている。コロナ禍でなかなか実施できていなかった防災訓練等についても、高齢者、子供たちの防災教室等を徐々に再開している状況である。今後さらに拡大していきたいと考えているので、その際には関係機関からのご協力をお願いしたい。

### **\* 大空町**

- ・道内においても最近局地的な激しい雨が見られる。7月13日の大雨のときも警報が出て、雨雲レーダーを見ているにもかかわらず非常に強く降るところが何か所かある状況だったため、大空町もどうなることかと思っていた。  
弟子屈寄りの東藻琴では少し被害を受けた。雨の降り方としては美幌町ほどではなかったが、被害があるとすれば網走川が想定されるので、美幌町で美幌川が水位的にかなり危険な状態になったという情報は我々下流側にとっても重要である。本協議会により網走地方気象台、河川事務所、近隣市町とは以前より情報交換ができるようになっており、事前の備えや心構えが随分できるようになったと防災担当から聞いている。このような関係を継続していければと考えている。
- ・大空町では浸水被害があるとすれば網走湖の女満別湖畔への影響が大きい。網走開発建設部と連携し、河川防災ステーションの整備を進めている。この地域は、防災の最前線でもありつつ、地域の方も住んでおり、大空町の1つの観光の拠点でもあるので、防災が第一の目的であるが、多様な利用なども引き続き協議をさせていただきながら整備を進めたいと考えている。
- ・防災には情報発信が非常に重要と認識しており、町民に対して情報を提供する手段として、令和4年4月に町独自の「そらっきーナビ」というアプリを開発した。それは、生活に必要な情報などを提供しながら、緊急の情報をプッシュ型でそれぞれのスマートフォンなどにお知らせするという大きな目的としている。ダウンロード率はやっと3割ぐらいまでいっているが、さらに高め皆様と連携したものを住民に対して発信していきたいと考えている。

### **\* 網走地区消防組合**

- ・近年の大雨災害の状況を見ると、全国各地で記録的豪雨を観測する事案が頻発しており、いっどこで洪水などの災害が起きても不思議ではないと認識をしている。そうした中、有事の災害対応に当たる消防機関として、資機材の備蓄、点検及び各種訓練の実施はもとより、合同訓練などへの参加により日頃から関係機関と情報を共有して、緊密な連携を図っていきたいと考えている。
- ・災害対応に不可欠な戦力である消防団員については、全国的に減少傾向が続く中、その確保が課題となっており、当組合内の消防団においても定員割れが続いているが、様々な手法を用いて定員を満たすことを目指し、地域防災力の充実強化に努めていきたいと考えている。

### **\* 美幌・津別広域事務組合消防本部**

- ・消防本部としては美幌町と連携して総合防災訓練の実施に取り組んでいる。消防としては資機材搬送時間の短縮を図るため、令和4年度に3tロングボディーの資機材搬送

車を導入した。これにより救命ボートや土のうの搬送などの時間短縮が図られると考えられる。また、網走の消防長が発言していたが、美幌の消防団も定員割れが続いているので、人材確保が必要と考えている。

#### **\* 北海道警察北見方面本部**

- ・北見方面本部としては災害発生時に出勤する警察部隊の指導や訓練を実施しており、災害用ドローンの操縦訓練、積み土のう訓練、各警察署や警察本部にある災害資機材の点検等を行っているところである。
- ・北見方面本部とオホーツク管内の警察署において網走地方气象台と連携した教養セミナーを年2回実施しており、1回目は7月上旬に実施している。2回目は、12月に実施予定となっている。
- ・その他としては、常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加する予定となっている。大雨や河川の水位、天候の見通し等について関係機関と情報共有を図っていく。

#### **\* 網走警察署**

- ・網走警察署としては、先ほど北見方面本部から報告あったとおり、網走地方气象台と連携し防災に関する教養セミナーを実施し、職員の防災意識の向上に努めているほか、今後網走市と協力して1日防災訓練を実施する予定である。
- ・今後、高齢者や身障者等の要支援者のみならず、最近は外国人の労働者が増加傾向にあることから、外国人も含めて防災意識の向上に各関係機関と連携して取り組んでいきたいと考えている。

#### **\* 陸上自衛隊第6即応機動連隊**

- ・第6即応機動連隊は、令和5年3月16日に第6普通科連隊から第6即応機動連隊に改編された。特に水防活動に関わる場所では、スカイレンジャーという新しい装備品が導入されている。これにより被害状況に対応する能力が向上されている。引き続き関係諸団体と協力して防災訓練への参加、水防機材の練度を向上させ、引き続き防災活動ができるように備えていきたい。

#### **\* 網走地方气象台**

- ・これから9月にかけての3か月予報では、引き続き気温は高く、降水量は平年並みと予想している。降水量は平年並みといっても、多い方にシフトした予想になっていることに留意いただきたい。気温が高くと、空気中に含むことができる水蒸気量も多くなり、上空に寒気が入った場合、先週13日の美幌町のような局地的に積乱雲が発生・発達し、短時間に非常に激しい雨が降るので、最新の気象情報をご利用いただきたい。
- ・气象台では、台風や低気圧の雨雲に対して、ある程度前もって気象情報、注意報、警

報などを段階的に発表できることが多いが、先週13日の美幌町のような雨雲は、ポテンシャルはありながらも、ピンポイントでどこに降るかというところまでは言及ができていない。一口に1時間50mmと言っても、地形や土地の脆弱性によって危険度が異なる。その危険度を加味したものが、気象庁ホームページで10分置きに表示されている「洪水キキクル」で、小さな河川も全て掲載されている。5段階で表示を10分ごとにしており、紫が出たら避難指示というような形で使用していただきたい。「土砂災害のキキクル」も1km四方メッシュで10分置きに、紫色が出たら避難指示という形で使用していただきたい。

- ・全国の気象台では、ここ数年気象防災ワークショップに力を入れている。気象台職員が講師となって、自治体職員を対象として、大雨になった場合どのような体制を構築して、どの地区に避難指示を発令するのか、3時間ほどのカリキュラムの中でグループ討議をして検討していくものである。参加者からは能動的に考える研修として好評を得ている。このワークショップは、先月30日に斜里町で23名が参加し行った。今月7日には北見市が隣接する訓子府町、置戸町、美幌町、津別町の防災担当者呼び掛け開催している。このほかの市町村において職員研修を行う場合は、お手伝いがあるので、お声掛けをいただきたい。気象台からも取り組みやすい企画を練って提案していきたいと考える。

#### **\*オホーツク総合振興局**

- ・水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発に関しては、近年の大規模災害の発生を踏まえ、児童生徒が防災に関する知識と防災意識を高められるようにするため、地域コミュニティの核となる小学校などにおいて、授業に防災の要素を取り入れた1日防災学校の実施を支援している。より実践的な防災教育をしていくためには、引き続き防災関係機関の積極的な関与が必要となるので、教育機関などから相談があった際にはご協力をお願いしたい。
- ・水防活動体制の強化については、昨年水防計画作成の手引の一部改正を行っている。洪水予報の運用変更を反映するなど北海道水防計画の修正を行い、その旨を各市町村へ周知したところである。また、市町村の地域防災計画や水防計画の改正に対して助言等を行っているので、振興局の危機対策室までご相談いただきたい。
- ・洪水氾濫を未然に防ぐ対策については、流下能力の向上を目的に、現在網走川や無加川などにおいて河道掘削や堤防の整備等を実施している。
- ・令和5年度取組としては、市町村で防災訓練等を支援するという事で、防災点検や訓練に関するノウハウが豊富な自衛隊OBの職員が市町村で行う防災訓練や研修会の企画立案から運営までをサポートするという取組を行っている。これまでオホーツク管内においても、この支援制度を活用した訓練を実施している。今後どのような訓練をしたらよいのか、お困りのことがあれば職員の派遣などについて調整を行うので、ご相

談いただきたい。

- ・地域防災力向上のための取組に関しては、地域防災力を強化するために自主防災組織をはじめとした地域における防災活動リーダーを育成することを目的とし、平成 19 年度より北海道地域防災マスター認定研修会を開催している。昨年度は 11 月に興部町で開催したところである。今年度も実施を考えており、希望する地域があればご相談いただきたい。
- ・ハード対策として無加川、網走川で改修を進めているが、そのほか無加川の支川である訓子府川、パンケビバウシ川についても令和6年度の事業着手に向けて現在計画区間を追加するなど、治水安全度向上に向けた取組を推進していきたいと考えている。河道内の樹木伐採、堆積土砂の除去については、平成29年度から計画的に10か年計画で進めているところである。令和5年度から緊急浚渫債を活用し、令和8年度までの10か年計画を2か年前倒して、令和6年度の完成に向けて実施しているところである。
- ・ハザードマップの作成、水防資材の購入などにかかる費用等を補助する事業があり、事業の活用にあたってお困りのことや相談したいことがあれば、建設管理部治水課までご相談いただきたい。

#### **\* 網走開発建設部**

- ・迅速かつ確実な避難行動のための取組として、皆様にご協力いただきながら防災ハンドブックの更新を行っている。更新内容は、防災対策に関わる担当者一覧と水害発生時の連絡簿及び水防資機材の保有状況等であり、出水期に向けて更新している。また、今年度から新たにオホーツク管内水害タイムラインを追加している。日頃からお手元に備えていただき、防災対応時にご活用いただきたい。
- ・常呂川下流地区水害タイムライン検討会を平成 30 年度から年 2 回ほど開催している。昨年度は第 10 回検討会を 7 月に開催し、情報伝達等における連絡先について確認するとともに、現地対応者の避難に関する検証及び各機関のオペレーションの見直しを目的に訓練を実施している。さらに、日吉・福山地区のコミュニティタイムラインに基づき避難訓練を実施し、常呂川下流地区水害タイムラインとコミュニティタイムラインの連動性の確認を行っている。今年 1 月には第 11 回検討会として、7 月に行った訓練の振り返りと次年度の取組について意見交換を行った。座長である東京大学の松尾先生、並びに日本赤十字北海道看護大の根本先生からご講演いただき、辻市長にもご出席いただいて数年ぶりに対面で開催したところである。
- ・迅速かつ確実な水防活動のための取組として、各市町村や消防機関と重要水防箇所の合同巡視を実施しているが、今年度も現在実施しているところである。昨年の 7 月には水防技術向上を目的とした水防技術講習会を北見市内において開催し、関係自治体、消防機関、多くの職員の皆様にご参加いただき、参加者は 80 名程度であった。洪水や地震による堤防決壊を想定した緊急対策シミュレーション検討会を実施し、緊急時の

オペレーションを確認するとともに、意見交換を行っている。また、大空地区河川防災ステーションの整備を過年度より継続して実施しており、これまでは基盤盛土を行っていたが、今年度は水防センター本体の施工に着手している。

- ・ 効率的・効果的な排水活動のための取組として、当部が所有する排水ポンプ車、照明車の動作確認や、操作習熟を図るための災害対策用機械の貸出、出動に関する操作訓練などを実施している。